

夢 追い人

NOW7

今大川で、そして全国の家具業界で注目を集めているグループ「NOW7」。参加している企業は、

- (株)園田産業
- 岡家具工業(株)
- 古賀清木工(株)
- 江口木材産業(株)
- (株)河口家具製作所
- (有)カキウチ家具工業
- (有)マルヨン民芸家具の七社。

旗揚げからリーダーシップを取ってきた、(株)園田産業 代表取締役社長 園田雄司さんに、発足のいきさつや目的などを伺ってみた。

「NOW7」という名称には、どんな意味が含まれているのでしょうか？

「そうですね。NOW7のNは、NEW、OはOK、A、WはWAVEを意味しています。七社が集まって大川家具産地の中に大きな波紋を広げたいとの願いを含めたつもりです。」

そうですか。いざ、どんないきさつでNOW7は発足することになったのでしょうか？

「二十年ほど前に、県のグループ事業として、『維



(株)園田産業

代表取締役社長 園田雄司 さん

大川市中古賀561-1
TEL 0944(87)3193

プロフィール

1952年生まれ。49歳。国学院大学法学部卒業後入社。89年に代表取締役に就任。
現在、大川家具工業会の副理事長として活躍



大川産地の中に大きな波動を！



新塾』を作りました。そしてその後メンバーの中から脚物の当社と棚物、箱物の三社でグループとしての物作りを続けてきました。そして、今から四年前

中国にあった自社工場を撤退することになった関係で、会社の方針を再検討する必要があったのですが、たまたま仲間二人とニューヨークに行く時、SOHO地区の家具ショップを歩き回って、非常に感銘を受けました。『家具って楽しいものだなあ』と。そのときのインパクトが新しいグループを作る動機付けになりました。」

NOW7のグループとしての強みは何でしょうか？

「海外のメーカにコスト競争をしようとする必要があり。やはり企画力で勝負する必要があります。NOW7には多品種少量に対応できる強みがあると思います。現在のシリーズでは、リビング、ダイニング、ベッドルームなど常時在庫で百アイ

テムを展開しています。そのために七社で月に何度かミーティングをしたり、共同仕入れに近いことを行っています。」

今一番気に掛けておられることは？

「柔軟なライフスタイルショップとしての展開です。欧米の流れもそうですから。ユーザー自身が『家具の楽しさ』を直接手に触れて感じて頂きたいと思います。ただ最近ではわれわれよりもユーザーのインテリアに対する考え方が進んでいると感じたり、その変化が速いと思うことが良くあります。それらへの対応が大事だと考えています。」

それにとどのように取り組んでおられるのでしょうか？

NOW7の家具を扱う東京のある大手ショップには、納品の度に同行し、生の意見を聞かせてもらっています。またそれは別に月に一回は上京し、家具ショップを歩き回り、自分の感性を高め、感じたものを取り入れるように努めています。

今後NOW7はどういう方向に進んでいくのでしょうか？

NOW7を大川のブランドとして育てたいと思っています。ユーザーにNOW7を認識してもらおうステップとして、今情報交換の場であるアンテナショップを持つことを検討しています。また、筑後平野には家具インテリアに適した資源がたくさんあります。建具、和紙、陶器、緋の技術であり、またそれから作り出される物です。それらとの融合もとてもおもしろいと思っています。

家具産地大川に期待されることは？

産地の中に幾つかの个性的なグループが出てきてくれたらと、期待しています。